(補足説明)

当社が平成15年3月29日現在で行った顧客口座についての調査の結果、 異姓・異住所で、

- (a)「携帯電話番号が同一」 の口座 約 50口座
- (b)「メールアドレスが同一」の口座 約 700口座
- (c)「設置型電話番号が同一」の口座 約2000口座

の延べ約2750口座を「取引の相手方が口座名義人になりすましている疑いがある口座」として把握。

このうち、疑わしい状況を払拭する措置を一切講じていないものに限っても、少なくとも、当該口座抽出後の平成15年4月1日から同16年3月31日までの1年間に、約1200口座において、有価証券の委託注文の受託に際し、当該注文の発注者が取引の名義人になりすましている疑いがあるにもかかわらず、本人確認を行わないまま当該注文を受託、執行していたものである。